

輸入検疫で発見された主な重要病害虫

1999年に輸入された植物から発見された主な重要病害虫は下表のとおりである。これらの病害虫の多くは携帯品で持ち込まれた輸入禁止生果実から発見されている。また、輸入禁止対象及び特定重要病害虫以外でもタイ産トウガラシ生果実等10

カ国4種類からマレーシアミバエ(99件)、タイ産サボジラ生果実等7カ国7種類からセグロモミバエ(72件)及びタイ産サボジラ等3カ国4種類からモミバエ(11件)等侵入を警戒している害虫も数多く発見されている。

発見病害虫名		寄主植物別発見回数	輸出国別発見回数
輸入禁止対象病害虫	<i>Bactrocera cucurbitae</i> ウリミバエ(10件)	ササガ(4) シュウロクササガ(1) ニガナ(4)	タイ(3) フィリピン(3) 台湾(4)
	<i>Bactrocera dorsalis</i> species complex ミカンコバエ種群(183件)	マンゴウ(66) レンブ(25) バンジロウ(22) トウガラシ(11) レイシ(9) パンレイシ(9) モンピン(8) その他16種類(33)	フィリピン(52) タイ(43) 台湾(43) インドネシア(13) マレーシア(8) ヴェトナム(6) その他10ヶ国(18)
	<i>Ceratitidis capitata</i> チチュウカイミバエ(4件)	トウガラシ(1) モンピン(1) カニステル(1) キミバエシロウ(1)	ペルー(2) ホリビア(1) ガーナ(1)
	<i>Cylas formicarius</i> アリモドキソウムシ(3件)	サツマイモ(2) イヌホウズキ(1)	ヴェトナム(1) タイ(1) 台湾(1)
	<i>Colletotrichum capsici</i> (1件)	トウガラシ(1)	タイ(1)
	<i>Aleulocanthus woglumi</i> ミカンクロトゲコナシラミ(7件)	コブミカン生葉(7)	タイ(7)
	<i>Anastrepha fraterculus</i> ミナミアメリカミバエ(2件)	マンゴウ(2)	ブラジル(2)
	<i>Dendroctonus ponderosae</i> アメリカマツノキクイムシ(3件)	ホワイトパイン材(3)	アメリカ(3)
	<i>Diabrotica undecimpunctata</i> ジュウイチホジウリハムシ(5件)	ロメインレタス(2) コリアンダー(1) セロリ(1) レタス(1)	アメリカ(5)
	<i>Otiorynchus sulcatus</i> キンケクテプトソウムシ(5件)	アシサイ(1) イノモトソウ属(1) Acer rubrum苗(1) Chrysalidocarpus lutescens苗(1) Helleborus orientalis苗(1)	アメリカ(2) オランダ(2) ベルギー(1)
特定重要病害虫	<i>Panthomorus cervinus</i> フラーバラソウムシ(6件)	リュウカデンドロン属切花(3) カニラント果柄部(1) フルーベリー(1) プロテア属切花(1)	ニュージーランド(3) アメリカ(2) チリ(1)
	<i>Zabrotes subfasciatus</i> ブラジルマメソウムシ(3件)	インゲンマメ(3)	インド(3)
	<i>Omphisa anastomosalis</i> サツマイモノメイガ(1件)	サツマイモ(1)	タイ(1件)

海外のニュース

米国ペンシルバニア州で発生したプラムポックス(ウイルス病)

1999年秋、ペンシルバニア州アダムス郡で米国では未発生のプラムポックスが発生した。本病はアブラムシ伝染性で被害が大きいことから、未発生各国が侵入を警戒するウイルス病である。同年、農務省及び州政府は、最初に本病が発見されたモモ園を中心とした半径2マイル内の地域で発生調査を行った。その結果、初発見地点から1.5マイル以内にある18の果樹園において、モモ以外にスモモ、アンズ及びネクタリンでの本病の発生が確認された。本ウイルスは4つの系統が知られているが、ELISAや遺伝子診断の結果、発見されたウイルスは、最も一般的で、病原性や伝染性が比較的弱い Dideron 型であることが判明した。農務省及び州政府は、感染地域内からの核果類の持ち出しの禁止や感染樹の処分などの対策を緊急に実施した。

今春、新たな核果類の生育シーズンを迎え、大規模な発生調査が再開されたが、5月までに新

たな地域での発生は認められていない。調査の最新状況については、米農務省のホームページ (<http://www.aphis.usda.gov/ppq/plumpox/>) 上で、本病の症状や病原ウイルスの生態、ELISA検定法のプロトコールなどとともに紹介されている。

なお、カナダ政府は、本病が同国における核果類生産の大きな脅威になり得ること及び一旦侵入すると防除が非常に困難なことから、1999年11月より米国からの核果類(サクラを除く)の穂木や苗木の輸入を禁止する暫定措置を実施している。

本病の病徴や被害などは本誌16号で解説している。

発行所 横浜植物防疫所
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎 ☎(045)211-7155
発行人 古茶武男
編集責任者 江口寛明
印刷所 内村印刷株式会社